

2022年 1月 卒後藤谷塾録

開催日 2022年 1月12日(水) 7:00~8:00

◆活動報告

- ①所属部署
- ②活動内容
- ③困っていること、その他相談など

【4期生】

A (奈良県)

- ①診療支援室 整形外科・四肢外傷センター
- ②術後患者を中心に治療経過や検査結果、症状に応じて介入し特定行為の実施、代行入力やカルテ記載  
院内 RRS ラウンドや、病棟で勉強会を実施
- ③特になし

B (東京都)

- ①看護部
- ②週3回病棟管理、週2回訪問看護
- ③特になし

C (島根県)

- ①包括ケア病棟
- ②看護業務を行いながらスタッフの相談、胃瘻交換等を行っている
- ③特になし

D (神奈川県)

- ①総合診療センター
- ②入院患者管理
- ③特になし

E (北海道)

- ①看護部 救急外来
- ②救急車対応(整形外科の救急車に関しては初期対応をさせていただいている)  
救急外来の管理・運用、外来患者の気切交換・胃瘻交換、指示注射・処方などの代行入力、  
病棟処置の介助、外来看護師不足時の応援
- ③特になし

F (群馬県)

- ①地域包括ケア病棟
- ②看護業務、胃瘻交換、創傷・褥瘡管理
- ③特になし

## G (長崎県)

①診療部:総合診療科

②整形外科併診患者 2 名 内科担当患者 5 名 全身管理 (栄養・水分管理・血糖管理) /治療プラン立案。内科患者の特定行為を実施。退院後訪問・転院患者の搬送 (同行)

③特になし

## H (神奈川県)

①総合診療センター・麻酔科

②火曜日、水曜日 内科にて受け持ち患者を担当。午後急患のファーストタッチ等を行い、指示、処方、注射の代行入力の実施。月木金は麻酔科で入室から 退室 までの一通りの管理を月 30 件程のペースで実施。術前、術後訪問。

③特になし

## I (滋賀県)

①診療所

②外来トリアージ、発熱外来診療介助、医師が即応できない外来/往診患者の初期診療、胃瘻・腸瘻交換、気切カニューレ交換、創傷処置・デブリ、特定行為研修生への指導

③特になし

## J (東京都)

①整形外科

②病棟当番

③特になし

## K (長崎県)

①診療部・心臓血管外科

②朝のカンファレンスでの情報交換・患者のその日のプランの把握、患者回診・カルテ記載、包交、医師が術中の病棟患者管理、術後直後の患者管理、HCU や病棟の人工呼吸器装着患者の観察や呼吸器設定の提案・実施。退院指導。心不全療養指導。週 1 回の腎臓内科研修 (透析患者の除水等の計画、DM 患者の内服やインスリンのレクチャーでディスカッション)、必要に応じ検査や輸液の代行入力。必要に応じ他科患者の特定行為実践。

③後身育成について

### 【5 期生】

## L (神奈川県)

①総合診療科

②カンファレンスに参加。指導医診察同行。病状説明の家族連絡と日程調整。勉強会の会場設営。

③なし

## M (東京都)

①ICU（主に脳神経外科）

②脳卒中 A 初療対応と処方や検査の代行入力、術中の病棟管理と家族フォロー、他職種カンファレンスや退院支援介入、特定行為の実施。脳外科以外の ICU 入室患者（総合診療科、循環器科、外科）の急変時対応、代行入力、特定行為の実施。長く特定行為介入させていただいた外来患者の ACP と在宅調整に参加。

③なし

N（東京都）

①総合診療科

②入院患者のマネジメント、同チーム患者の主治医不在時の対応、カルテ記載・処方や点滴・検査等の代行入力、緊急入院患者の初期対応

③特になし

O（東京都）

①総合診療科

②入院患者管理、特定行為の実施、カルテ記載、処方・検査の代行入力、退院後の外来フォロー

③特になし

P（静岡県）

①外科

②救急対応、カルテ記載、処方や検査の代行入力、手術助手、VAC 交換や輸液投与など

③特になし

Q（東京都）

①外来

②訪問診療同行、救急室看護業務、病棟緩和対応

③なし

R（神奈川県）

①循環器内科

②代行入力、入院患者マネジメント

③なし

◆症例発表：右下肢痛と体動困難を主訴に来院した一例

・どんな所見があるか考える

→骨髄炎、皮膚軟部組織感染症のマストルールアウトは何か考える。そのための身体所見を取らなければならぬ。

・抗菌薬の選択は重要で種類だけでなく投与量も重要。投与量が少ないと効果がない場合もある。

・下肢を保存的に残したが ACP を行なって本人の意思を尊重した。

塾長の講評

・皮膚軟部組織感染で骨髄炎の場合は MRSA、嫌気性菌のカバーも必要。

- 骨髄炎は血沈、CRP を指標にフォローアップをしていく。抗菌薬投与は最低 6 週間。
- 骨髄炎の予防的抗菌薬投与は基本的には行わない。
- NDC には今後ケアとキュアを兼ね備えられる様になってほしい。